

令和4年度事業報告

1. 事業の実施に係る事項

1) 富士山に残されている天然林を保全、活用する事業

《事業》植生保護柵の点検・保全

《目的》国有林に設置した植生保護柵の点検、修復、植生復元状況調査など

《実施日》6/17・7/11・10/17

《内容》破損等の点検・倒木処理など

《事業》センサーカメラによる動物調査、食害調査、ナラ枯れ調査

《目的》動物の生息調査およびニホンジカの活動、ナラ枯れの進行状況の記録

《実施日》6/17・7/11・8/3

《内容》センサーカメラ回収・記録の分析、食害の目視調査、写真撮影による記録

《事業》樹皮防護ネット設置(御殿場小山ボーイスカウトと協働)

《目的》森の中で母樹となる樹木の樹皮をニホンジカの食害から保護する

《実施日》9/4

《内容》須山口周辺のキハダ20本以上にサプリガードを設置

参加者 34名

2) 富士山の森林で過去に失われた生物多様性を復元し、水源涵養力を保全するための事業

《事業》国有林の富士山クラブ西白塚ウラジロモミ人工林の混交林化計画
協定林全域の植物相調査を実施

《目的》人工林を天然林に復元するための実験

《実施日》9/29・10/8

《内容》15年前の植物相調査記録と比較することで協定林の間伐による効果を考察した
ナラ枯れにより、シンボルツリーであったミズナラの倒壊を記録

報告書「富士山クラブ西白塚協定林の植物相調査 ナラ枯れとミズナラの巨木」作成

3) 地域の環境教育に富士山の自然環境を活用する事業

《事業》御殿場市 富士山環境保全・教育推進事業

《目的》環境教育のための富士山の自然環境調査

《実施日》4/2・4/10・4/17・4/25・4/30・5/12・5/20・6/1・6/4・6/13・6/28・7/3・7/20

7/29・7/30・8/6・8/11・8/16・8/19・8/23・8/26・9/11・9/15・9/25・10/15

10/19・10/29・11/25・3/29(その他に佐藤氏独自で調査)

《内容》御殿場市内の麓から宝永火口までの環境及び標高に沿った植物相調査

《事業》 会員勉強会 蜘蛛の生息調査・植物調査・野鳥調査

《目的》 植生保護柵の効果を確認

《実施日》 7/30

《内容》 調査者・日本蜘蛛学会. 久保田克哉氏

元静岡県環境調査委員会植物部会会員 佐藤孝敏

日本野鳥の会 菅常雄氏

参加者 14名

4) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

《事業》 ナラ枯れ調査

《目的》 ナラ枯れの現状をドローンと現地踏査により調査

《実施日》 9/6

《内容》 踏査およびドローンによるカシノナガキクイムシの被害状況を調査、前年と比較

《事業》 パネル展示・動画制作

《目的》 富士山の自然環境保全の啓発

《実施日》 6/10・7/3・10/23

《内容》 6/10 ecoまつりに参加(パネル展示)

7/3 ふらっと展に参加(パネル展示)

10/23 玉穂地区中畑南区文化祭に参加(パネル展示)

《事業》 自然観察ガイドブック「富士山御殿場口の自然観察」改訂版 2,000部作成

《内容》 小学生以上を対象とした御殿場口での自然観察ガイドブック

※ 活動の中で作成した冊子・報告書はホームページで公開している。

2. 総括

富士山の森林はニホンジカの食害による樹木の立ち枯れ、林床植物の消失に加えてカシノナガキクイムシの大発生によりミズナラの大量枯死が発生するなど、大きな変化が進んでいる。その変化の記録は、今後の富士山の環境保全に資することができるかと確信している。

活動記録写真



御殿場市区域の植物相調査



パネル展示・3回実施



地質・火山学者による片蓋山・腰切塚の地形調査



センサーカメラによる動物調査



植生保護柵の点検・植物相調査



植生保護柵の修理



樹皮防護ネットの設置・ボーイスカウト



西白塚富士山クラブ協定林の植物相調査



ドローンによるナラ枯れ調査



ナラ枯れ調査



蜘蛛・野鳥・植物の森林学習



植生保護柵の効果を見学

決算報告

貸借対照表

NPO法人富士山ホシガラスの会

[税込] (単位:円)

令和5年3月31日現在

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		預り金	0
現金	19,547	流動負債合計	0
普通預金	182,222	負債合計	0
現金・預金計	201,769	正味財産の部	
流動資産合計	201,769	前期繰越正味財産	227,757
		当期正味財産増減額	△ 25,988
		正味財産合計	201,769
資産合計	201,769	負債及び正味財産合計	201,769

財産目録

NPO法人富士山ホシガラスの会

[税込] (単位:円)

令和5年3月31日現在

《資産の部》		《負債の部》	
【流動資産】			
(現金・預金)			
現金	19,547		
普通預金	182,222		
現金・預金計	201,769		
流動資産合計		201,769	
資産合計			201,769
【流動負債】			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			201,769

活 動 計 算 書

[税込] (単位:円)

NPO法人富士山ホシガラスの会

自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月 31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	206,000		
一般会員受取会費	228,000	434,000	
【受取寄付金】			
受取寄付金		23,000	
【受取助成金等】			
受取補助金		160,400	
【その他収益】			
受取 利息	2		
雑 収 益	58,222	58,224	
経常収益 計			675,624
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金	250,000		
印刷製本費(事業)	29,119		
旅費交通費(事業)	66,096		
通信運搬費(事業)	120		
消耗品 費(事業)	57,899		
水道光熱費(事業)	240,000		
賃 借 料(事業)	1,600		
保 険 料(事業)	9,050		
雑 費(事業)	16,755		
その他経費計	670,639		
事業費 計		670,639	
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
旅費交通費	2,060		
通信運搬費	10,941		
消耗品 費	4,460		
接待交際費	10,000		
支払手数料	750		
雑 費	2,762		
その他経費計	30,973		
管理費 計		30,973	
経常費用 計			701,612
当期経常増減額			△ 25,988
【経常外収益】			
源泉預り			25,525
【経常外費用】			
源泉納入			25,525
税引前当期正味財産増減額			△ 25,988
当期正味財産増減額			△ 25,988
前期繰越正味財産額			227,757
次期繰越正味財産額			201,769

財務諸表の注記

NPO法人富士山ホシガラスの会

【事業費の内訳】

事業費の区分は以下の通りです。

[税込] (単位：円)

科目	
(人件費)	
人件費計	0
(その他経費)	
諸謝金	250,000
印刷製本費(事業)	29,119
旅費交通費(事業)	66,096
通信運搬費(事業)	120
消耗品費(事業)	57,899
水道光熱費(事業)	240,000
賃借料(事業)	1,600
保険料(事業)	9,050
雑費(事業)	16,755
その他経費計	670,639
合計	670,639

以下は該当なし

【施設の提供等の物的サービスの受入】

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供】

【用途等が制約された寄付等】

【固定資産の増減】

【借入金の増減】

【役員及びその近親者との取引】